

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもデイサービスWAKUWAKU（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日		～ 2025年 10月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日		～ 2025年 10月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族支援・移行支援の一環として、毎月1回全保護者対象に呼びかけを行い、面談を実施している。内容としては、日ごろの様子を伝え合い、支援の方向性を共に考え、「顔の見える関係性」を大切に保護者様も安心できる環境を整えている。	家庭や学校での様子や日ごろ感じている想いを傾聴し、必要に応じてアドバイスを行うと共にペアレントトレーニング要素を含め、意識しながら伝えるようにしている。	面談の必要性を感じる保護者様に連絡を個別に行うが、来所に至らないケースもあるので、その場合は訪問相談支援を積極的に行なっていく。
2	5領域における、運動・感覚・認知・行動を意識し、さまざまな素材を使用して、「作ってみたい」という創作意欲を形にすることで、充実感や満足感、達成感を得る上に、成功体験としての経験を積み重ね、ご本人の自信へと繋がるような支援を行なっている。	必要に応じて、聴覚や視覚から情報が入りやすいように、絵カードや個別指示を行う。また、季節や行事に合わせ、児童が興味関心が持てるような製作活動を心掛けている。	児童の想像力をもっと引き出せるような働きかけを行なっていく。
3	5領域における、健康・生活、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性を意識し、自然（川遊び、磯遊び、山遊び等）の活動や季節の行事、また、他事業所との合同イベント等、多くの経験を積み自信と繋げ、日常生活に活かしていけるような支援を行っている。	他事業所や地域活動を通して、地域や他者との関わりを少しでも多く持つことが出来るような企画運営を行っている。その中で、さまざまな経験を行い、自己対応力を身につけ、生きる力の習得に向けて支援していけるよう意識して取り組んでいる。	地域イベントや地域との交流や繋がりを意識して行なっていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	平日の利用時間によっては、ホール等がない為、活動スペースが限られているので、室内で児童が思いきり身体を動かして活動することが出来にくい。	室内スペースに限りがあること。	さまざまな工夫や条件は必要になるが、近隣の公園や広場で活動する等の工夫が必要となる。
2			
3			